

あいちけん たぶん かきょうせい かん けんみん いしきちょう さ
愛知県の多文化共生に関する県民意識調査
ほうこくしょ がいようばん
報告書 概要版

へいせい ねん がつ
平成22年3月
あいちけん
愛知県

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

社会・経済情勢の変化に伴う急速な雇用環境の悪化により生活等の状況が大きく変化しているなかで、日本人県民、外国人県民双方の多文化共生に関する意識・要望等を迅速かつ的確に把握し、今後の多文化共生社会づくりに向けた施策を行う上での基礎データとします。

(2) 調査方法

①外国人県民

訪問による聞き取り（不在の場合、郵送による回収）

調査票は、ポルトガル語版、スペイン語版、中国語版、英語版及びふりがな付き日本語版を使用

②日本人県民

郵送による送付・回収

(3) 調査期間

①外国人県民

平成21年12月22日（火）～平成22年2月15日（月）

②日本人県民

平成21年12月5日（土）～25日（金）

(4) 調査の対象者

①外国人県民

外国人登録者の多い、名古屋市、豊橋市、豊田市、岡崎市、小牧市、春日井市、安城市、豊川市、西尾市の9市に居住する、中国、ブラジル、韓国・朝鮮、フィリピン、ペルー国籍の満20歳以上の外国人登録者4,000人

（外国人登録原票に基づき、無作為抽出）

②日本人県民

愛知県内に居住する満20歳以上の男女 4,000人

（住民基本台帳に基づき、無作為抽出）

かいしゅうりつ
(5) 回収率

かいしゅうりつ
回収率

種別	対象者数	転居・宛先不明	実対象者数	回収数	回収率
①外国人	4,000人	797人	3,203人	717人	22.4%
②日本人	4,000人	21人	3,979人	1,673人	42.0%

がいこくじんけんみん こくせきべつかいしゅうりつ
外国人県民 国籍別回収率

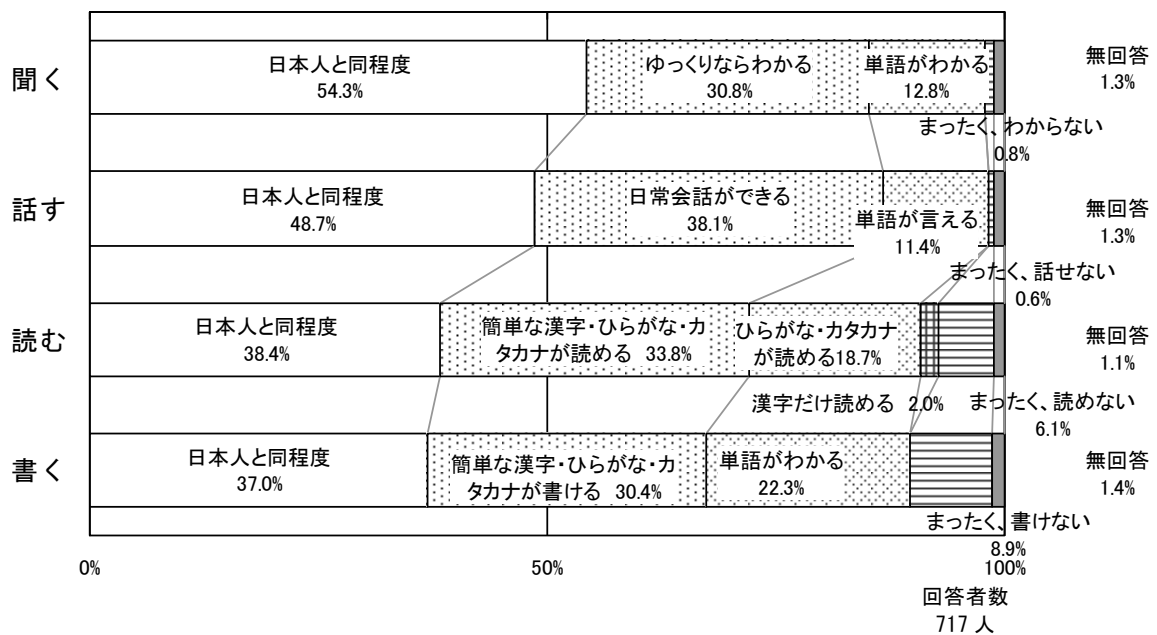
国籍	対象者数	転居・宛先不明	実対象者数	回収数	回収率
ブラジル	1,530人	518人	1,012人	196人	19.4%
中国	920人	109人	811人	211人	26.0%
韓国・朝鮮	860人	28人	832人	179人	21.5%
フィリピン	540人	107人	433人	92人	21.2%
ペルー	150人	35人	115人	25人	21.7%

ちょうさけつか
2. 調査結果のまとめ

がいこくじんけんみん
I 外国人県民

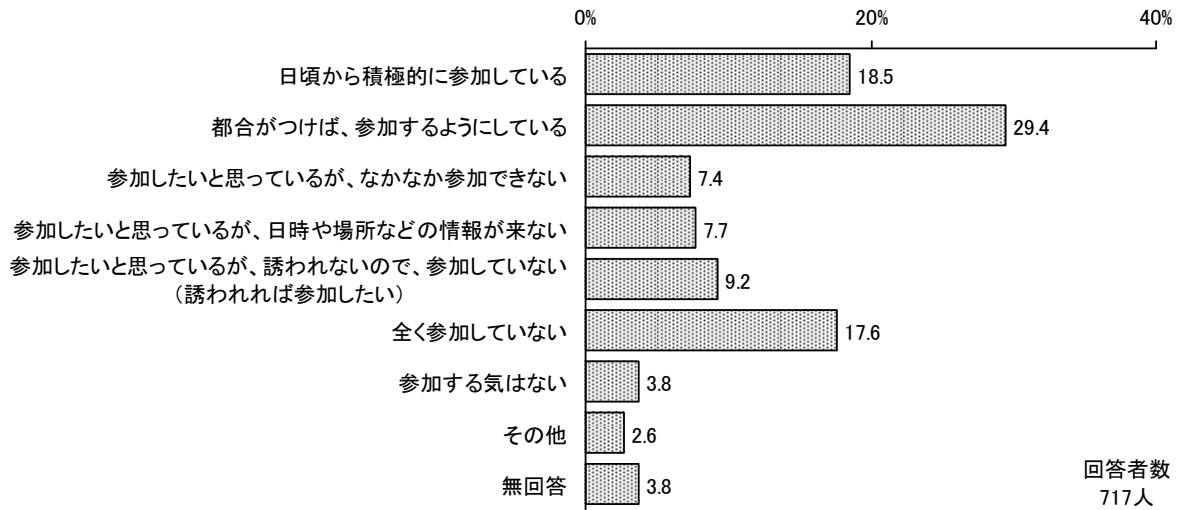
にほんごのうりょく
日本語能力

き はな くら よ か ほう ふじゅう ひと おお
聞く・話すに比べて読む・書くの方が不自由な人が多い



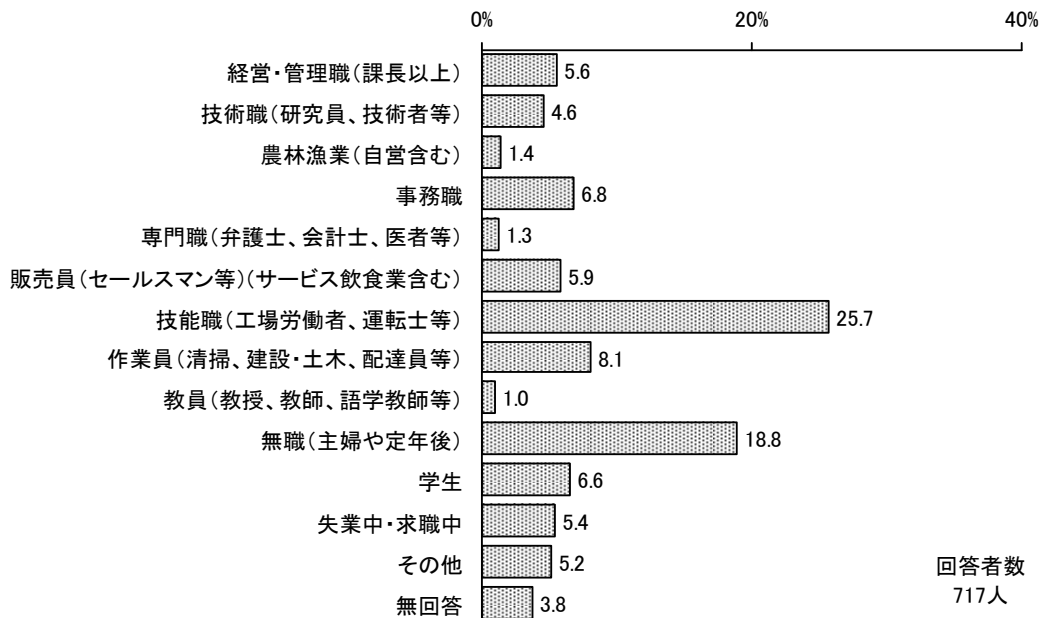
ちいきかつどう さんか
地域活動への参加

ちいきかつどう つごう さんか わり せっきよくてき さんか わり まったくさんか
地域活動へは都合がつけば参加が3割、積極的に参加が2割、全く参加していないは2割弱



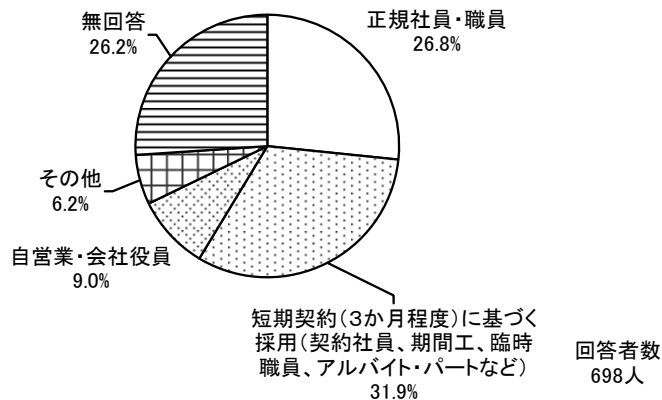
げんざい しごと
現在の仕事

げんざい しごと ぎのうしょく むしょく わり
現在の仕事は技能職 (25%)、無職 (2割)



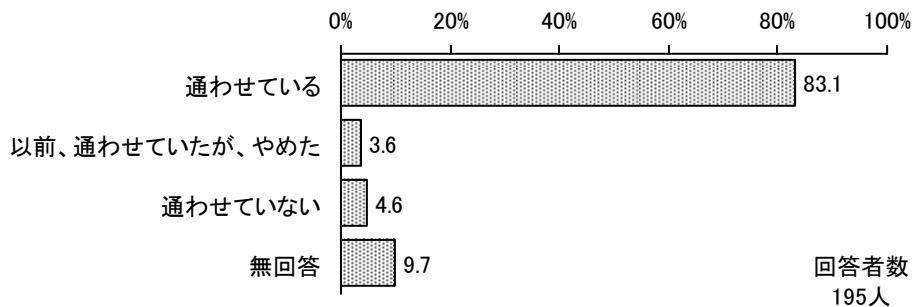
しごと さいようけいたい
仕事の採用形態

さいようけいたい せいきしゃいん しょくいん わりじゃく たんきけいやく わり
採用形態は、正規社員・職員が3割弱、短期契約が3割



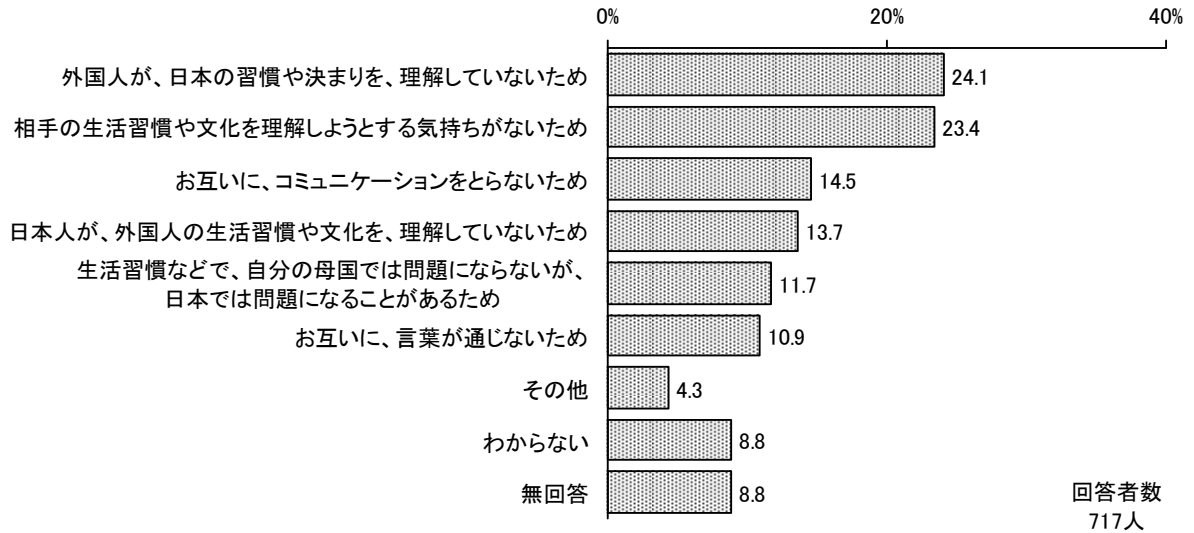
こ しゅうがく
子どもの就学

がくれいき こ ひと こ がっこう かよ わり
学齢期の子どもがいる人で、子どもを学校に通わせているのは8割



にほんじん げんいん
日本人とのトラブルの原因

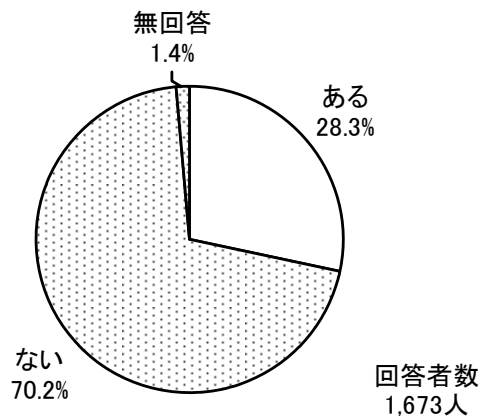
げんいん しゅうかん りかい りかい きも
トラブルの原因は、習慣を理解していない、理解しようという気持ちがないなど



にほんじんけんみん
I 日本人県民

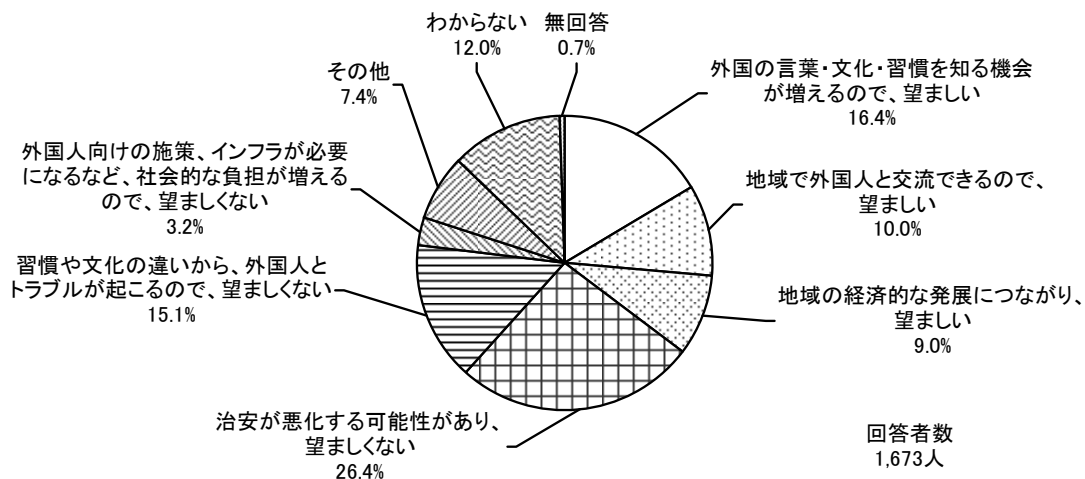
たぶんかきょうせい にんち
「多文化共生」の認知

たぶんかきょうせい し ひとり わり し ひとり わり
「多文化共生」を知っている人は3割、知らない人は7割



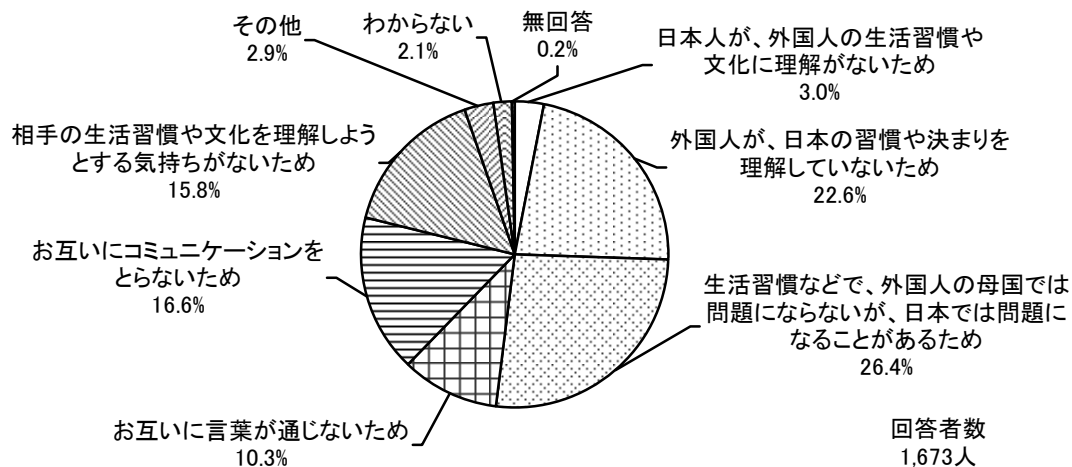
がいこくじん おお おも
外国人が多いことをどう思うか

がいこくじん おお のぞ かん やく のぞ かん ひと
外国人が多いことを望ましくないと感じる人は約45%、望ましいと感じる人は約35%



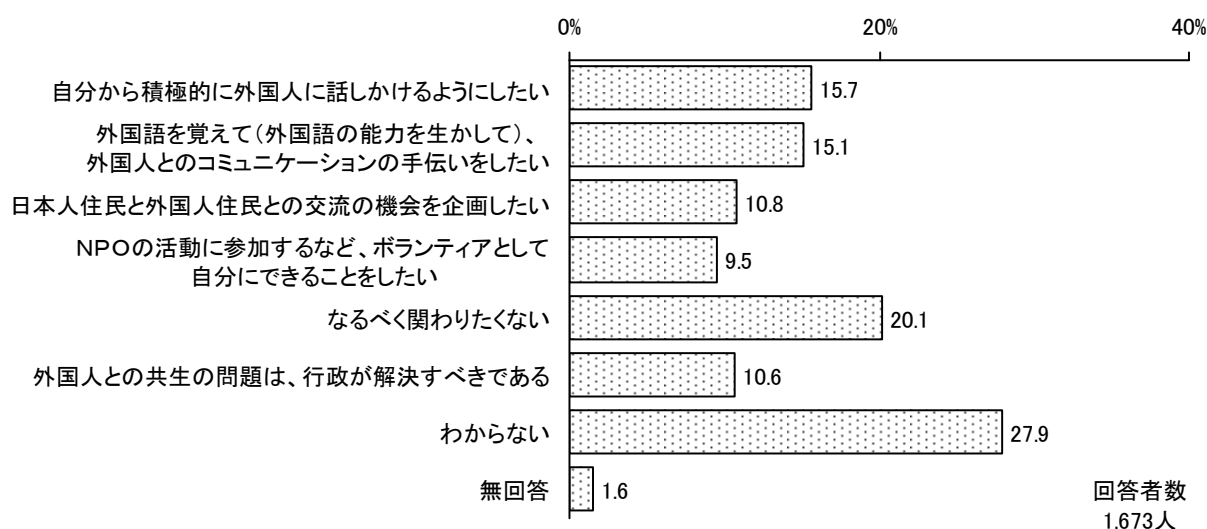
にほんじん あいだ お りゆう
日本人との間にトラブルが起きる理由

にほんじん りゆう せいかつしゅうかん ちが そうごりかい
日本人とのトラブルの理由は、生活習慣の違いや相互理解、コミュニケーション不足



がいこくじん きょうせい
外国人との共生のためにできること

がいこくじん きょうせい せっきよくてき はな
外国人との共生のためにできることは、積極的に話しかけたり、コミュニケーションの手伝いをすることなど



愛知県の多文化共生に関する県民意識調査報告書

平成 22 年 3 月

発行：愛知県 地域振興部 国際課 多文化共生推進室

住所：〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電話：0 5 2 - 9 5 4 - 6 1 3 8

email：tabunka@pref.aichi.lg.jp